

施策名		審議会からのご意見(指標に対応するものを記載)	対応状況	第3期基本計画の成果指標(案)		
政策A1(子育て):子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり						
A1-1	子どもの健やかな成長への支援	-	-	①児童館の登録児童数	初期アウトカム	
		-	-	②青少協地区委員会活動への青少年参加者数	初期アウトカム	
		第2期基本計画では、主な施策の方向性に「子どもの人権の尊重」とあるが、第3期基本計画では、今後4年間の重点的な取り組みのなかに「児童虐待の防止と早期発見・早期支援」がある。取り組みを具体的に進めていくというように読み取れる反面、大きな意味では後退してしまったようにも読み取れる。施策の内容の話になってしまうが、取り組みとして継続するのであれば、もう少し直接的に人権の尊重が読み取れる表現の方が良いのではないかと。そのうえで、指標もあると望ましい。	○	子どもの人権にかかる講演会への参加申込数が増加しており、これを意識の高まりを示す数値として指標化する方向で検討	③児童虐待防止推進月間講演会の参加申込者数	初期アウトカム
		第2期基本計画の指標を継続するのであれば、児童虐待防止の取り組みについても指標を設定し、進行管理を行ってほしい。(適切な指標であるかは判断が分かれると思うが、児童相談所や子育て総合センターへの通報数など)	○	通報数が増える、減ることがよいとは一概に言えず、指標化するのは難しい	※子どもの人権擁護には重点的に取り組むべきであり、施策の方向性として独立させる	-
A1-2	子育て家庭への支援	-	-	①子ども・子育て支援法に基づく指導検査の実施	アウトプット	
		-	-	②子育てひろば事業(地域子育て支援拠点)への利用者数	初期アウトカム	
		-	-	③認可保育所の待機率(0-2才児)	中間アウトカム	
		保育の視点が重要なのは理解できるので、これを計る指標が必要なのは当然だが、「小1の壁」という言葉もあるように、ぜひ学童クラブに関する指標も示してほしい。(近隣市と比較しても、多摩市の学童クラブは素晴らしいというアピールにもなると思う)	○	新たな成果指標を設定	④学童クラブの待機児童数	中間アウトカム
		A1-2は家庭への支援という考え方で整理しているとのことなので、世論調査のように対象を全世帯としている指標はなじまないのではいか。	○	意見を参考に、対象を市民全体としている指標を削除した。	-	-
		「ひとり親家庭への支援」の取り組みは重要であるので、これを計る指標として、世帯の貧困率が取れば指標化を検討してほしい。	×	自治体単位での貧困率は出していないため、市としてデータを持っていない	-	-
保育に関する指標は待機児童数のように受け入れの数値でみられることが多いが、他方、質の向上も重要な視点なので、保育サービスの魅力向上を図る指標も検討してほしい。たとえば、保育園の第三者評価結果を成果指標としている市も存在するので、参考にしてほしい。	×	第三者評価は、施設ごとに3年に1度の周期で受けており、年度によって受ける施設が異なり、年度間での比較が難しいため	-	-		
A1-3	子育て・子育てを育む地域づくり	-	-	①ファミリー・サポート・センターの利用・提供会員数	初期アウトカム	
		第2期基本計画の成果指標である「子どもの安全を見守る地域の大人の数」が、具体的にどこまでの実績値を合算しているのかわからないので、具体的に記載することで、それぞれの取り組みの効果を計れるようにしてほしい。また、市以外でも民生委員等と同様の取り組みを多く行っているの、これらの実績を含めたものを指標としても良いのではないかと。	○	議会でも同様の指摘があり、根拠を明確にするため、子ども110番の登録人数を指標とする	②子ども110番の登録数(個人、事業所の合計)	初期アウトカム
		A1-1やA1-2の内容・指標となるのかもしれないが、放課後子ども教室の持続可能な運営に向けた取り組みを推進していくのであれば、どれだけ多くの受け入れができたかという意味で利用者数はA1-3の指標にもなり得るのではないかと。	○	新たな成果指標を設定	③放課後子ども教室への参加児童数	初期アウトカム
		国でも、放課後子ども教室については、箇所数と子どもの数等を数値目標を掲げて取り組みを推進していたので、多摩市でもこれに倣って、指標化してみたいか。	○	新たな成果指標を設定	-	-
A1-4	子ども・若者に対する多角的な支援	市としても始まったばかりの取り組みということもあり、まずはアウトプット寄りではあるが、相談事業の参加者数、実施件数等から計っていくところもあり得るのではないかと。	○	新たな成果指標を設定	①若者のひきこもり相談件数	初期アウトカム
		-	-	-	②他支援機関につながった割合	中間アウトカム
		アウトカム指標として何が考えられるかという視点で言えば、ひきこもりから自立した方に対して、当該事業の満足度・意識調査等ができれば、成果も計れるし、事業のフォローアップや改善という意味でも望ましいのではないかと。	×	現状では、相談を受け、助言するまでの段階であり、その後のフォロー、自立までの追跡調査などはこれからの課題	-	-

政策A2(教育):人と学びを未来につなぐまちづくり

A2-1	確かな学力を育む教育の推進	-	-	①全国学力・学習状況調査(算数・数学)における「知識」に関する問題の平均正答率(小5・中2)	中間アウトカム	
		全国学力・学習状況調査のように全国との比較というよりは、多摩市として「日本一英語を話せる児童・生徒の育成」を掲げているような英語教育や、引き続いて取り組んでいくESD等について、ぜひ指標化できるものがあるならば、それを用いて効果測定を行ってほしい。(今後に向けては、その実績値がシティセールス等で活用できる)	○	新たな成果指標を設定	②GTEC(スコア型英語4技能検定)における「話すこと」(Speaking)の平均スコア(中3)	中間アウトカム
		政策A2のページでは、「学力の二極化」を課題の一つとして掲げているのに、平均正答率が指標なのは違和感がある。上下の差を小さくしていくという考えであれば、平均以外の数値の取り方もあるのではないかと。【第8回審議会追加意見】	○	指標としている学力・学習調査における「知識」に関する問題は、基礎学力の定着度合を測る問題となっており、これを引き上げることを目標としている	-	-
		英語教育と同様に情報教育についても、今後取り組みを広げていく分野であるので、児童・生徒の成果を測る指標は何か無いかを検討してもらいたい。	×	情報教育(プログラミング教育)は、各教科の学習の中で採り入れていく考えであり、成果を測る指標には馴染まない	-	-

A2-2	豊かな心を育む教育の推進	—	—	—	①全国学力・学習状況調査(質問紙調査)における「いじめはいけない」と回答した割合(小5・中2)	中間アウトカム
		「自己有用感」、「自己肯定感」のような指標を設定できないか検討してほしい。	○	新たな成果指標を設定	②全国学力・学習状況調査(質問紙調査)における「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答をした割合	中間アウトカム
		—	—	—	③不登校児童・生徒のうち、学校の教員以外の支援がある児童・生徒の割合	中間アウトカム
		なかなか目標として指標化することは難しいと認識しているが、いじめの実数ゼロを掲げてもらえることができるか検討してもらいたい。	×	いじめにも様々なレベルのものがあ、これをゼロにすることは現実的ではないと考えている	—	—
A2-3	健やかな体を育む教育の推進	—	—	—	①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることが好き」と回答した割合(小5・中2)	最終アウトカム
		—	—	—	②全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の平均値(小5・中2)	最終アウトカム
		アレルギー疾患に向けた体制の充実では、学校給食における事故件数を把握できると思うので、実効性を高めるためにも新たな指標として検討してもらいたい。	○	学校給食におけるアレルギー事故発生ゼロを維持することを指標とする	③学校給食時のアレルギーによる重篤事故の発生件数	中間アウトカム
		第2期基本計画と比較して、健康教育の内容が充実しているの、それらの取り組みの成果を計るものとして、取り組み・実施の学校数を設定することはできないか。	×	がんは治療すれば治る病気、早期治療が重要など、がんについての正しい知識を身につけることが求められており、指標化には馴染まない	—	—
A2-4	児童・生徒の学びを支える環境づくり	—	—	—	①市内小中学校における地域学校協働本部への移行校数	初期アウトカム
		第2期基本計画の指標として、「市内小中学校における学校支援の仕組みの設置数」を設定しているが、はじめて見た人からすると、これが何を示しているのか判別できない。これが学校運営協議会の設置数等を示しているようであれば、分かりやすさの観点から具体的に記載してもらいたい。	○	新たな成果指標を設定	②市内小中学校におけるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の設置校数	初期アウトカム
		第3期基本計画から、ソフト・ハード両面で環境づくりを推進する施策となっていると思うので、ハードの取り組みも計れる指標も設定してほしい。(ストックマネジメント計画等で進行管理しているようであれば、それらの数値を活用しながら)	○	新たな成果指標を設定	③市立小中学校の全トイレの洋式化率	初期アウトカム
		第2期基本計画のA2-1やA2-2から移動してくる取り組みもあると思うので、ICT活用の教員の割合は、A2-1からA2-4に移す検討も行って欲しい。	○	第2期計画のA2-1の指標を継続して設定	④教員のICT指導力アンケートの結果	初期アウトカム
		学校運営協議会については設置を進めているので指標にしていくという考えもあるが、アウトプット指標になってしまうので、そこから生み出された取り組みの数など、アウトカムで捉えられる指標があればなお良い。	×	取組内容などは学校によって様々であり、これを一律の指標化することは難しい	—	—
		市として計画的に進めていくということではあるが、小中学校の全トイレの洋式化率は本当に指標化すべきものなのか。だれでもトイレというものであれば指標化の意味は大きいと感じるが、違和感を感じるので、所管課に再度確認をしていただきたい。【第8回審議会追加意見】	△	だれでもトイレは、大規模改修時の標準仕様になっているため、順次、整備している	—	—

政策B1(健康・医療):生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

B1-1	ライフステージに応じた健康支援と健康づくり	—	—	—	①自分が「とても健康」「まあまあ健康」と感じている市民の割合	最終アウトカム
		—	—	—	②健康のために実践していることがある市民の割合	中間アウトカム
		今回の計画では、受動喫煙防止対策の強化を打ち出しているの、これらの取り組みを計る指標が設定できると良い。(たとえば、条例の認知度など)	○	新たな成果指標を設定(予定)	③受動喫煙により健康影響をうけるものうち心臓病・脳卒中へ影響を与えると知っている市民の割合	中間アウトカム
		受動喫煙に関する指標だけでなく、健康増進は市民の行動変容が重要となることから、これらの情報発信の活動について計ることができる指標があれば設定して欲しい。				
		第2期基本計画の指標では、健診の受診率を乳児に限っているが、これだけに限らず、第3期基本計画のなかで特に力を入れていく年齢層や、他の年齢層と比較して遅れが出ている年齢層を比較検討しながら、適した指標を設定してほしい。	○	乳児の受診率から妊婦面接の実施率に改めた	④妊婦面接実施率	初期アウトカム
がん検診の取り組みを推進していくのであれば、がん検診の受診率を指標化できないか。	○	がん検診の受診率は高いが、精密検査受診率は全国平均からみると低いことから、指標化する	⑤がん検診の要精密検査受診率	初期アウトカム		
B1-2	健康を支えるネットワーク	第2期基本計画では、B2-3に位置していた国保の施策が移ってきているので、これに対応する成果指標も漏れのないように検討して欲しい。	○	B2-3で使用していた指標を移動	①国民健康保険特定健康診査実施率	初期アウトカム
		(1)保健医療体制の充実の③にある「かかりつけ医・歯科医の充実」については、これらの取り組みをしっかりと計るような成果指標の設定をお願いしたい。	○	現在の指標を継続使用	②かかりつけ医師を持つ市民の割合	中間アウトカム
		—	—	—	③第2期麻疹風しんワクチン定期予防接種率	初期アウトカム

政策B2(地域福祉):だれもが安心して暮らせる支え合うまちづくり						
B2-1	地域福祉及び権利擁護の推進	-	-	-	①地域福祉の推進についての市政に「満足」「やや満足」している市民の割合	最終アウトカム
		-	-	-	②地域活動や行事、またはボランティア活動に「現在参加している」「これまでに参加したことがある」と回答した市民の割合	最終アウトカム
		民生委員は現在20地域で欠員が出ている。地域課題が多様化していくなかでは、民生委員の果たす役割も大きくなっているため、欠員解消を目指して、欠員地域ゼロを目標とした成果指標を設定して欲しい。	○	新たな成果指標を設定	③民生委員・児童委員の欠員地区ゼロを目指し、地域からの候補者選考を経て東京都に推薦を行う人数	アウトプット
		-	-	-	④多摩市内における自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)	最終アウトカム
B2-2	セーフティネットによる生活支援	-	-	-	①生活困窮者自立支援制度の利用による就労支援プラン対象者のうち、就労した者及び就労による収入が増加した者の割合	中間アウトカム
		現時点の指標に加えて、生活保護世帯の子供の大学進学率も計れないか。	○	新たな成果指標を設定	②生活保護世帯の子どもの大学等進学率	中間アウトカム
		-	-	-	③犯罪被害者等相談窓口を「知っている」「聞いたことがある」市民の割合	初期アウトカム

政策B3(高齢者支援):高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり						
B3-1	地域生活における高齢者支援	地域包括支援センターはだいたい市民の認知も上がってきた。今後は、計画案にもあるように相談機能強化の段階となるので、周知度というよりは相談件数を計る指標が良いのでは。	×	相談件数は着実に伸びており、件数を増やすことよりも、相談体制・内容などの質を高めていくことに重点を置きたい	①地域包括支援センターの周知度	中間アウトカム
		第2期基本計画のB3-2の成果指標である「認知症サポーター養成講座受講者数」は、B3-1の認知症対策とも関連するので、こちらの成果指標で検討しても良いのではないか。	○	B3-2で使用していた指標を移動	②認知症サポーター養成講座受講者数	初期アウトカム
		介護に関しては、重症化患者が少ないのが多摩市の特徴。成果指標の考え方となじまないかもしれないが、これも指標としてあえて外に見せていくのも良いのではないか。	×	今後は、後期高齢者の人数・割合が増え、重症化患者は増加していく見込み	-	-
		介護保険制度の運用そのものには課題はまだある。市の取り組みではないかもしれないし適した指標があるのかは分からないが、提供されるサービス、ケアプランの満足度等のアンケート結果があれば大事な指標になるだろう。	×	現状では、満足度を測るアンケート項目がない(自由意見欄に記載があるのみ)	-	-
B3-2	介護予防・フレイル(虚弱)予防、生きがい対策の推進	-	-	-	①介護予防に資する住民運営の通いの場(概ね週1回以上定例開催)団体数	初期アウトカム
		元気な高齢者の方の社会参画として、就労状況はまず押さえておくべきで、その意味でシルバー人材センターの就労状況は手堅い成果指標といえる。しかし、社会参画の形はそれだけではないので、趣味やボランティア、あるいはシルバー人材センターを介さない就労のデータが取れるようであれば、指標としてはより良いものになると思う。	○	シルバー人材を介さない就労データの指標ではないが、審議会から「手堅い指標」との意見があったシルバー人材センターに関する指標を設定した。	②シルバー人材センター登録会員数達成率	初期アウトカム
		高齢者のボランティア参画を把握する指標としては、介護ボランティアポイントの状況などを検討してみたいか。	△	現在、調整中	-	-
		「生きがいづくり」に対する取り組みを計る指標として、社会への参画意識や生活に対する不安感等が考えられると思うので、調査のタイミングもあると思うが、それらで社会への参画意識や生活に対する不安感等が計れないか検討してもらいたい。	△	これまでは実績を把握していなかったが、次回の高齢者実態調査には「役割期待」という項目を入れる予定	-	-

政策B4(障がい者支援):障がい者が安心して暮らせるまちづくり						
B4-1	地域生活における障がい者(児)支援	-	-	-	①障がいのある方が現在の住まいにこれからも「住み続ける」「将来市内で転居する」と回答している割合	最終アウトカム
		-	-	-	②発達支援室を知っている人の割合	初期アウトカム
		市だけではなく、事業者の理解・取組みも重要な視点となるので、中小企業も含めた市内事業者の障がい者の雇用・就労状況が計れるようなら指標として検討してほしい。	○	-	③障がい者就労支援事業の登録者で就労支援により就労できた方で、1年以上雇用継続されている割合	中間アウトカム
		下位計画の多摩市障害福祉計画等で、グループホーム数について数値目標を設定しているようであれば、「親亡き後の生活の場の確保」の取組みを計る指標として活用してみたいか。	△	グループホームの数は設定可能だが、アウトプット指標になるため、設定は行わなかった。	-	-
		障がい者の中でも、積極的に支援機関を利用する人と、そうでない人がいる。相談の件数などを指標に設定するのであれば、総数ではなく、一人当たりの件数で測るのが良いのではないか。【第8回審議会追加意見】	×	相談件数は着実に伸びており、件数を増やすことよりも、相談体制・内容などの質を高めていくことに重点を置きたい	-	-
B4-2	障がい者(児)の暮らしやすい環境づくり・支援体制	-	-	-	①障がいのある方やその家族が日常生活の中で障がい者への差別や偏見、人権侵害等を「ほとんど感じない」「全く感じない」という割合	最終アウトカム
		-	-	-	②障がい者が災害時や非常時に手助けをしてくれる人を親類以外で頼んでいる割合	初期アウトカム
		事業者の視点がこちらの施策に入るようであれば、ぜひ指標化してもらいたい。	×	事業者側の視点に立つ施策がなく、指標化は難しい	-	-
		出せる情報ではないかもしれないが、障がい者雇用に関して罰則を課した企業の数の推移等を指標化してみることはできないか。	×	市では、そのような数字を把握していない	-	-
第2期基本計画の策定時と比べると、発達障害の認知・理解が進んできた。第3期基本計画の指標という視点で考えると、各機関での相談件数は指標としてあり得るのではないか。(多ければ良いものではないとも言えるが、件数がある＝ニーズに対応できており、受け入れ態勢も充実していると捉えることもできる)	△	相談件数が増えることをどのように評価するのが難しい(満足度を測れるものがあればよいのだが、満足している割合は低いと感じている)	-	-		

政策C1(市民活動・コミュニティ):地域で支え合い、暮らせるまちづくり						
C1-1	多様な担い手による地域づくりの推進	—	—	—	①自治会・町会・管理組合の加入世帯数	初期アウトカム
		—	—	—	②「多様な担い手が協働し、人々がつながりを持って互いに支え合えるまち」であるかの設問に、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	最終アウトカム
		「コミュニティ施設のさらなる活用」の計測のためには、集会所やコミュニティ施設の稼働率等の数値も使えるのではないか。	○	新たな成果指標を設定	③コミュニティルームの利用者数	初期アウトカム
		協働、協力、共催など市民との関わりの中で実施した事業の数で「多様な担い手による地域づくりの推進」の進捗度合いが計測できるのではないか。また、市の事業の中では、一団体との連携だけではなく複数の団体と関わりを増やすようにしてはどうか。	○	市が大学との連携により実施している事業数は毎年調査していることから、指標化できる	④大学との連携事業数	中間アウトカム
C1-2	市民主体による地域づくりの推進	—	—	—	①地域活動につながる人材の発掘・養成に向けた講座事業数、受講者数	事業数:アウトプット参加者数:○
		—	—	—	②「仕事や地域活動を通して、自分の力を発見・発揮できる機会があるまち」であるかの設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	最終アウトカム
		地域懇談会・地域委員会については、ただちに市内全域で設置されるのではなく、調整が完了したエリアから順次設置を進める形なのであれば、具体的な指標として地域委員会の設置数もあり得るのではないか。	○	新たな成果指標を設定	③(仮)地域懇談会・(仮)地域委員会の設置エリア数	初期アウトカム
		地域懇談会・地域委員会が解決を目指す課題の内容に合わせて、活動を測定できる指標の設定が必要。社会福祉協議会と区別できないが、地域懇談会・地域委員会や地域担当職員の設置については、地区ごとの市民意識を使ってはどうか。将来的に課題を解決していく段階に入った際には、課題解決数等も考えられるが、数値の水増しがなされる懸念もある。	△	地域委員会での活動による課題解決の成果などを指標として設定することは、将来的には可能となるかもしれないが、現状では難しい	—	—

政策C2(文化・交流):豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり						
C2-1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり	現状の指標でもそこまで問題ないのではないか。	○	現在の指標を継続使用	①市民文化祭の参加団体数・参加者数	初期アウトカム
		「市民1人当たりの、図書館の個人貸出冊数及びリサイクルで頒布した資料数」は、単純に合算して問題ないのか。他自治体と比較できるよう、貸出冊数のみでもよいのではないか。他自治体の状況等確認して欲しい。	○	表記を修正	②週1回以上スポーツをした人の割合(体操やウォーキング等を含む)	中間アウトカム
		東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるために、ラジオ体操教室等イベントが計画されているのであれば、競技の観客数や映像視聴者数等に加え、関連イベントのイベント数や参加者数はどうか。	○	市内のスポーツ施設で同時開催する「快汗スポーツDAY」の参加者数の指標化は可能	③市民1人当たりの個人貸出冊数	中間アウトカム
		東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、何か取り組みに力を入れるのであれば、その取り組みを測る指標を成果目標値に出来るとよい。	×	オリンピック・パラリンピックにかかる事業は、2020年までとなるので、基本計画の指標とするには時間軸が合わない	④快汗スポーツDAYの参加者数	初期アウトカム
		—	—	—	—	—
C2-2	多様な交流による地域づくり	—	—	—	①友好都市富士見町との交流・共同事業数、参加者数	事業数:アウトプット参加者数:○
		国際交流活動に「参加している」、「参加していた」、「参加したい」市民の割合のうち、「参加したい」市民の割合は除いたほうがよいのではないか。	○	表記を修正	②国際交流活動に「参加している」、「参加していた」、市民の割合	中間アウトカム
		—	—	—	③コミュニティセンターを中心とした地域内・世代間交流事業の実施数及び参加者数	事業数:アウトプット参加者数:○
		出入国管理及び難民認定法の改正に関連して、多摩市では今後4年間で特に対応は必要ではなく、基本的にはこれまでの施策の延長線上で扱うという理解でよいのか。極めて重要な話題と考えるが、現状の成果目標値には採用されていない。 外国人に対する意識調査もあり得るのではないか。 国際交流事業等として外国人との交流にスポットを当てるよりも、外国人が日本人の住民と同様にコミュニティに溶け込み自然に交流が行われる形を目指すべき。分かりやすい指標としては、外国人の地域活動への参加者数や参加率は代理的な指標になるかもしれない。	○	多文化共生の取り組みを推進していくことを重点的な取り組みに掲げていることから、これを測る指標は必要だと考えており、事業として実施している日本語教室への参加者数を指標化したい	④国際交流センターが実施している外国人向けの日本語教室の参加者数	中間アウトカム
C2-3	文化の継承と創造	一見、全見学者に占める小学3・4年生の割合とも読み取れる。小学3・4年生に占める見学者数の割合と分かりやすい名称にした方がよいのではないか。また、3・4年生に限る意味もないと思われるため、全学年の小学生にしてもよいのではないか。	○	表記を修正	①教育委員会の文化財所管施設の来館者及び各種事業の参加者数	初期アウトカム
		パルテノン多摩は修繕に入ると思われるため、来館者といった目標値の修正など対応を検討してほしい。	○	新たな成果指標を設定	②多摩市文化振興財団が行う市民協働事業とアウトリーチ事業の参加者数	初期アウトカム

政策C3(平和・共生):だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり							
C3-1	平和の希求と人権の尊重	C2-3のように小学生を巻き込んでどうか。例えば、地元の児童・生徒を対象とした参加型のワークショップなどはどうか。	○	意見を踏まえ、単一の事業の参加者数ではなく、地域や学校と連携した平和事業の回数に改めた。	①地域や学校等と連携して実施した平和事業の回数	アウトプット	
		ゆう桜ヶ丘コミュニティセンターでの平和展のように、パルテノン多摩での平和展に限らず、他の場所でも取り組みが出来るが良い。また、そのような取り組みを学校等と連携して広く展開できるとよい。	○	－	－	②「市民や平和に暮らせる(差別や人権侵害がない)まち」であるかの設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合	最終アウトカム
		施策の方向性を踏まえると、小学生に限らず、若い世代の参加者・入場者数や、被爆地派遣等の平和事業経験者が関わったイベント開催数・参加者数、また学校との連携度合い等を成果目標値にできないか。	－	－	－	－	－
		平和展について、現在のプログラムはあまり魅力的に感じない。現状のままでは入場者数を増加させることは困難では。意義は分かるが、工夫が必要。工夫度合いを測る指標の方が達成が容易ではないか。	○	平和展単独の指標は削除	－	－	－
C3-2	男女平等・男女共同参画の推進	「男女の地位の平等間について『平等』『女性の方が優遇』『女性の方が非常に優遇』と回答した市民の割合」を指標にしているが、「平等」と回答した割合だけで良いのではないか【第8回審議会追加意見】	○	表記を修正	①男女の地位の平等感について「平等になっている」と回答した市民の割合の合計	最終アウトカム	
		成果目標値の①「市の行政委員会、付属機関等における女性委員の比率」の代わりに、女性議員の割合、女性幹部職員の割合、女性職員の割合等はどうか。市役所での割合か、可能であれば市内事業者における割合が指標化できるとよい	○	行動計画の目標管理事業の指標にもなっていることから、市の係長以上の女性職員の比率を指標とする	②市の係長職以上の女性比率	中間アウトカム	
		管理職割合よりも働いている数の方が違和感は少ない。	○	－	－	－	
		B4にも関わるが、SOGIに関するハード面の取り組み、例えば公共施設におけるだれでもトイレや学校の更衣室等の対応を指標化できないか。	×	女性センターとして、公共施設などのハード整備への関わりは限界があり、指標化は難しい	－	－	

政策D1(経済観光):人々が集い、働く、活気と魅力あるまちづくり						
D1-1	産業の振興による地域経済の活性化の推進	上記の変化の捉え方として、コワーキングスペースやWi-Fi環境が整備された公共施設等、場所を明確にして利用度を計測してはどうか。	－	－	①市認定ビジネス支援施設利用者数	初期アウトカム
		－	－	－	②多摩市勤労者市民共済会会員数	初期アウトカム
		－	－	－	③市内企業・事業所ホームページ紹介数(累計)	初期アウトカム
		東京2020オリンピックパラリンピック大会等を契機として、テレワーク等、働き方改革が進む可能性はないか。そのような変化を捉える成果目標値を設定したり、取り組みの方向性の一つにしてはどうか。	○	「①市認定ビジネス支援施設利用者数」を指標として設定することで、新たな働き方の指標とした	－	－
		市内4駅の乗降客数について、総数だけでなく乗降客の属性を分析できないか。	－	施策D1-4に関する意見のため、反映せず	－	－
D1-2	観光の視点によるまちの魅力づくりの推進	今後4年間の重点的な取り組みと現在の成果目標値である「ロケ撮影受入件数」は関連が見えにくいのではないか。	×	観光資源創出の取組となるため、成果指標としたい。「②市内観光客数」と合わせることで、観光施策全体の指標としたい	①ロケ撮影受入件数	初期アウトカム
		－	－	－	②市内観光客数	最終アウトカム
		多摩市はベビーカー利用者が多いと感じる。まちの歩きやすさを示す指標として、データを把握できないか。	×	現時点で歩きやすさを示す指標はなく、ベビーカー利用者などの人数は新たに調査をする必要がある	－	－
		外国人の来街者が増えているため、外国人来街者数を成果目標値にしてはどうか。	×	外国人をターゲットとした事業は、まだ多くは実施していない。そのため、外国人に限定しない観光客数を指標としたい	－	－
D1-3	農業者と市民が支える都市農業の推進	認定農業者数は今後も指標にすべき。	○	現在の指標を継続使用	①認定農業者戸数	初期アウトカム
		農地の増加が難しい中、認定農業者数の増加と市民農園数の増加は両立が難しい目標なのではないか。	○	新たな成果指標を設定	②援農ボランティア人数	初期アウトカム
		農地の保全を進めることを前提に、いかに市民との関わりを増やしていくか考えるべき。また、その状況を測る成果目標値を設定できないか。	－	－	③農業イベント(家族体験農業、農業ウォッチングラリー、アグリアグリイベント)の参加者数	初期アウトカム
		－	－	－	－	－
		市民との関係という面で、市民への安心安全な農産物の提供という観点から、農産物直売所数等を指標化してはどうか。	○	市民と農業との関係に関する指標は、より関わり方が深い「②援農ボランティア人数」とした	－	－
市内の市民農園への入園者数利用率はどうか。	○	－	－	－		

D1-4	拠点地区の拠点性の向上	小売業の売上を指標に出来ると良い。また、以前も提案した通り、駅の乗降客数やその内訳も指標に出来ると良い。ベビーカー利用者など、どういう人が多摩市を訪れているのかカウントできるとよいのでは。	○	駅の乗降客数については、指標として設定	①聖蹟桜ヶ丘駅乗降客数(1日あたり)	最終アウトカム
			×	ベビーカー利用者などの人数は新たに調査をする必要があるため	②多摩センター駅乗降客数(1日あたり)	最終アウトカム
		市内4駅の乗降客数について、総数だけでなく乗降客の属性が分析されたものや、各駅の売上高など、施策とリンクした指標も追加できないか。【第8回審議会追加意見】	×	鉄道事業者から乗降客の属性までのデータを取得することは難しい。各駅の売上高は商業統計の金額を利用してはいたが、毎年調査があるわけではなく、指標の評価が難しくなるため設定していない	③永山駅乗降客数(1日あたり)	最終アウトカム
		駅周辺の定義を明確にする必要があるが、駅ごとの税込などは公表が難しいのか。	×	駅ごとのエリアの設定が難しいこと、社会全体の経済状況や特定の事業者の影響を受けやすいことから、指標として設定することが難しい		
		毎年定期的に行われているイベントの来場者数について、主催者発表であればデータの質をチェックした上で可能であれば使用できるとよい。	○	D1-2「②市内観光客数」に含まれる		

政策E1(防災・防犯):安全・安心のまちづくり

E1-1	減災・防災体制のさらなる強化	自主防災組織数よりも訓練の実施数や参加者数を指標化した方が良いのでは。開催地域が変わっていくため、実数ではなく地域における参加率に出来ると良い。	×	自主防災組織の構成人数や、訓練規模が大きく異なることや、自主防災組織以外の団体とも連携して訓練を実施することが多く、参加範囲がつかめないことも踏まえ、防災組織の組織数で共助の広がりを把握することを成果指標とした	①自主防災組織の組織数	中間アウトカム
			—	—	②防災連絡協議会の数	中間アウトカム
			—	—	③消防団員の定員充足率	中間アウトカム
E1-2	暮らしの安全を守るまちづくりの推進		—	—	①消費者啓発のための講座実施回数	アウトプット
			—	—	②犯罪発生件数(暦年)	最終アウトカム
			—	—	③特殊詐欺被害件数(暦年)	最終アウトカム
		実数の把握が前提となるが、空き家数、もしくは特定空き家数は指標化した方が良さそう。	×	特定空家等認定審査会で認定されないと特定空家とはならず、現状ゼロである。また、特定空家と認定される前でも、苦情等が持ち込まれた段階で、問題点を解決してもらえるように、所有者へ依頼している		
	防犯協会の支部数よりも、多く行われている子どもの見守り団体の数や、防犯協会の主な事業への参加者数等の方が良いのでは。	×	防犯協会の事業へ参加する場合は、主に、各支部の方々に参加していただいているため、先頭に立って各地域で参加していただいている防犯協会各支部の増加を指標とすることとしている。なお、子供見守りは政策A1-3で評価している			

政策E2(都市づくり):安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり

E2-1	次世代につながる都市づくりの推進	地区計画の策定件数を指標に使用している自治体もあると思われるが、指標化できないか。	○	新たな成果指標を設定	①地区計画の地区整備計画面積	初期アウトカム
		関連する個別計画でしっかりと進捗管理を行っているので、個別計画の方で設定された指標を踏まえて検討してほしい。	○	「多摩ニュータウン再生方針」で掲げる取り組み方針は、定性的な評価が多く、また、市の取り組みが成果に結びついているか確認できないことや、成果があらわれるまで長い時間を要することなどから、総合計画の成果指標としては設定しづらいものとなっている。		
		ニュータウン再生の推進が、具体的にどのような取り組みを進めるのか見えにくい。若い世代の呼び込み、人口構成のバランスの改善等が含まれるのであれば、少しアウトプットからは遠いが、若い世代の割合等はどうか。目標値としては、全国平均と同水準としてはどうか。	×	このため、定量的な評価であり、都市計画マスタープランの目的と役割でも触れられている「地区計画」の「地区整備計画面積」が今後4年間の重点的な取り組みを測る指標として適しているため、これを設定する。		
		未来志向で、自動運転に関する指標等を設定してはどうか。	×	今年度、国・都の実証実験を行ったところであり、現段階で指標化するところまで見通せていない		
E2-2	適正な公共施設等の維持・更新		—	—	①小・中学校の大規模改修実施数	アウトプット
			—	—	②定期点検で機能が良好に保全されていると評価された橋梁の割合	中間アウトカム
		関連する個別計画でしっかりと進捗管理を行っているので、個別計画の方で設定された指標を踏まえて検討してほしい。	○	関連する個別計画(多摩市公園施設長寿命化計画)に基づく指標を新たに設定	③多摩市公園施設長寿命化計画に基づく公園更新地区数	アウトプット

E2-3	安全で快適な移動空間の確保	—	—	—	①ユニバーサルデザインブロック設置路線延長割合	初期アウトカム
		街路灯のLED化であれば、取替件数等を指標化できるのではないかと。なお本来は、市道だけでなく都道についても計測できるとよい。	○	新たな成果指標を設定	②街路灯のLED化率	初期アウトカム
		交通安全教室への参加者数等が考えられるのではないかと。それに加えて、世代間のバランス等をどう盛り込めるか、検討してもらえるとよい。	○	新たな成果指標を設定	③出前交通安全教室実施状況	初期アウトカム
E2-4	街の活力を高める交通ネットワークの強化	—	—	—	①「交通の便」の感想について、「良い」「どちらかといえば良い」と回答した市民の割合	最終アウトカム
		主に今後4年間の重点的な取り組み②、③、④が指標に反映されていないと考える。⑤「交通のバリアフリー化の推進」は指標化が可能なのではないかと。	△	②から⑤各々の要素が、今回設定した指標に総合的に反映されていくものである また、道路のバリアフリーについては、E2-3「ユニバーサルデザインブロック設置路線延長割合」で評価する	—	—
		③「駐車・駐輪対策」に関しては、元々の施策E1-3の成果指標であった放置自転車数をそのまま使用してはどうか。また交通のバリアフリー化の推進も、交通事業者との協力を基に進めていく必要性は分かるが、現状を数値化し、目標値は100%に近づけるとしてはどうか。	×	放置自転車について、これまでは平日撤去のみだったが、土・日・夜間撤去も検討しており、変動要素があるため成果指標から外した	—	—
E2-5	良質な住宅の確保と居住環境の形成の促進	空家対策など、住宅マスタープランで指標化・目標値設定が適切に行われているのであれば、住宅マスタープラン等関連する個別計画で設定された指標を踏まえて検討してほしい。	○	関連する個別計画(住宅マスタープラン)に基づく指標を新たに設定	①住宅アドバイザー派遣制度利用数(年間) ②優良建築物等整備事業利用数(累計) ③臨居・近居促進事業の利用数(累計)	初期アウトカム 中間アウトカム 中間アウトカム
		町名地番整理達成率は指標としてはあまり適さないのではないかと。	○	成果指標から削除済み	—	—

政策F1(環境):地球と人にやさしい持続可能なまちづくり

F1-1	自然環境・都市環境の保全と創出	—	—	—	①みどり率	中間アウトカム
		—	—	—	②緑の豊かさについて「良い」「どちらかといえば良い」と答える市民の割合	最終アウトカム
		緑の総量の増加よりも、市民等とも連携した緑の質の向上や活用の推進、維持管理が重要。市民のかかわりの状況が分かる成果目標値を設定すべきではないかと。	○	みどりのルネッサンスに基づく指標を継続することとした。	③地域との合意により改善を行った講演及び緑地の箇所数	初期アウトカム
		BOD値は、近年は基準値以下の河川が殆どなのではないかと。成果目標値として妥当なのか。	△	国の定める基準値は達成しているため、第3期ではもうひとつ上の基準値を目標に掲げて取り組む。	④河川のBOD(生物化学的酸素要求量)値	最終アウトカム
		生物多様性を測る代理指標として、市内で確認される鳥類の種数を鳥類の観察団体に照会したり、鳥類の観察イベントの回数等を成果目標値に出来ないかと。	×	生物多様性地域戦略を来年度から策定(計画開始は2022年度)するため、みどりのルネッサンスに基づく指標、①みどり率、②緑の豊かさについて「良い」「どちらかといえば良い」と答える市民の割合で評価する。	—	—
F1-2	スマートエネルギー社会の構築	—	—	—	①市内の二酸化炭素排出量	最終アウトカム
		市施設における電気使用量ではなく、本来は市全体の電気使用量が分かるとういのが、難しいのか。	×	現状では、民間事業者の施設における電気使用量を算出することは難しい。今後、技術の進歩により捕捉できるようになれば、検討していきたい。	②市施設における電気使用量	中間アウトカム
		今後4年間の重点的な取り組みである「自動車交通の合理的な利用の推進」の取り組み状況が反映される成果目標値が現在はないのではないかと。	○	「①市内の二酸化炭素排出量」に「運輸(自動車)部門」として含まれている。	—	—
F1-3	資源循環社会の構築	—	—	—	①総ごみ量	最終アウトカム
		—	—	—	②資源化率	中間アウトカム
		—	—	—	③市民1人1日あたりのごみ量	最終アウトカム
		食品ロスの問題に取り組む必要はないかと。食品ロス量の把握は困難と思われるが、多摩市での食品ロスには、家庭内の賞味期限切れ食品が占める割合も比較的高いのではないかと。その場合、生ごみ量、総ごみ量と食品ロス量にある程度の相関があるのではないかと。	×	食品ロスの実態については、国においても把握手法の確立の模索を始めたばかりである。ごみ減量の量として設定するため、今後研究していく予定。今回の基本計画では、取組項目として設定し、市内の関係団体とともに、主に啓発を中心に行う。	—	—
F1-4	環境を支える人づくりとパートナーシップの形成	現状(第2期基本計画の成果指標)はアウトプットに近い指標と思われる。より民側の活動実態に近い、各種事業への参加者数やボランティア団体の活動内容活動状況を成果目標値に出来るとういのではないかと。	○	市民の活動を把握できる成果指標を、新たに設定	①多摩エコ・フェスタの参加団体数 ②多摩市身のまわりの環境地図作品展の集客数 ③公園緑地に関わるボランティア団体数	初期アウトカム 初期アウトカム 初期アウトカム

第1編に関する審議会からのご意見【第8回審議会追加意見】

P4	今回の改定の3つの基本的な考え方(改定方針)は、審議会では共有されているが、市民の目線では知らない人も多いので、冊子に反映した方が望ましい。	○	ご意見を踏まえ、改定方針の記載を追記
P5	総合戦略に関する表記があるが、無理に連動と言わなくてもいいのではないかと。関連性があることは間違いないが、国の動向などもあり、今後どこまで連動した総合戦略が作られるのか見えない部分もある。	△	本計画における想定人口は、総合戦略の将来展望人口を用いることもあり、総合戦略との連動についてはそのまま残す整理とした。
P22	財政状況の説明において、不交付団体に関する市のスタンスの表記に違和感がある。表現を再考してほしい。	○	「平成31年度中期財政見通し」の策定にあわせて、財政状況の表記も修正し、不交付団体に関する記載は削除
P26	第2期基本計画の評価(「目指すまちの姿」ごとの目標達成状況は、第3期基本計画で取り組む重点課題にも繋がるものだと認識している。しっかりと取り組みをしても、達成状況があまりに低いと取り組みをやっていないと思われる。そのような誤解がない表現の工夫をした上で、それでもやはり進捗が芳しくないものについては、第3期基本計画でしっかりと取り組んでいくというスタンスをより明確化して記載すべき。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P27	今後の課題の頭の4行の文章が分かりにくい。高齢化の進行と後期高齢者の話が一文に混合しているので、そのように感じる。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P29	今回の重点課題は、第2期基本計画の3つの取り組みを継承しただけでなく、現状や課題を踏まえ、重点化したものと認識している。表現を修正すべきでは。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P34	「市民の理解を得ていくことが困難な場合も増えています。」という文からは、何に対して「市民の理解を得る」のかが読み取れないし、「市民の理解を得る」という大事なことを投げ出しているようにも読めると思うので、別の表現を用いたほうが良いのではないかと。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正

第3編に関する審議会からのご意見【第8回審議会追加意見】

P148	ICTの活用に関する表現が二度出てくるが、それぞれ「検討します」と「進めます」の表現で一致していないので、前向きな表現「進めます」に統一できないか。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P148	昨年度には、SIMたま2030をやるなど、市民による財政白書づくりが始められている。「開かれた行財政運営」の主体は民間事業者だけでなく、市民も加えるべきではないか。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P150	情報公開請求に関する表現の中で、まずは「市の保有する情報を積極的に公開する、そのうえで情報公開があれば迅速に対応する」という順序で記載すべきだろう。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P150	コンプライアンスの項目であるかは分からないが、市の行政活動と密接な関係があるボランティアがどのような取り組みをしているかを知っていただくことで、各分野の取り組みの推進に寄与すると思うので、職員の研修などをぜひ行っていただきたい。	△	総合計画への記載が馴染まないことから記載は行わないが、人事課に委員からのご意見として情報提供を行う
P151	「ジェネラリスト配置、複線型配置」は一般的な用語ではないので、文言の修正をすべき。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P152	市民もシティセールスはかなり期待されていると思われるが、記載内容のトーンが弱いように感じるのと、市民としてもう少し具体的な取り組みの記載を要望し	○	総合計画の性質から、大枠の方向性を示す記載となるため、細かな取り組みの記載は行わないが、市民の目線からの記載を追記した。
P153	「行政評価を踏まえた予算の編成・分配」は表現が重複しているので、「編成・執行」と改めてほしい。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P153	「重点課題」に対する取り組みの市民評価に関する表現の中で、「重点課題・視点」は「総合計画審議会を起点に位置づけた」としているが、「総合計画審議会の議論を踏まえ」程度の表現に修正してほしい。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正
P153	行政評価で確認された方針を踏まえ、どのように予算を編成するかの説明が足りない。進捗が良いものは伸ばしつつも、逆に芳しくないものは予算措置も見据えながら、取り組んでいくという考え方を丁寧に記載すべき。	○	ご意見を踏まえ、文言を修正